

東汲沢小学校 学援隊活動報告

【令和元年度 ひぐみ学援隊活動をふり返って】

学援隊 石橋重則

令和2年2月19日

本日の報告事項

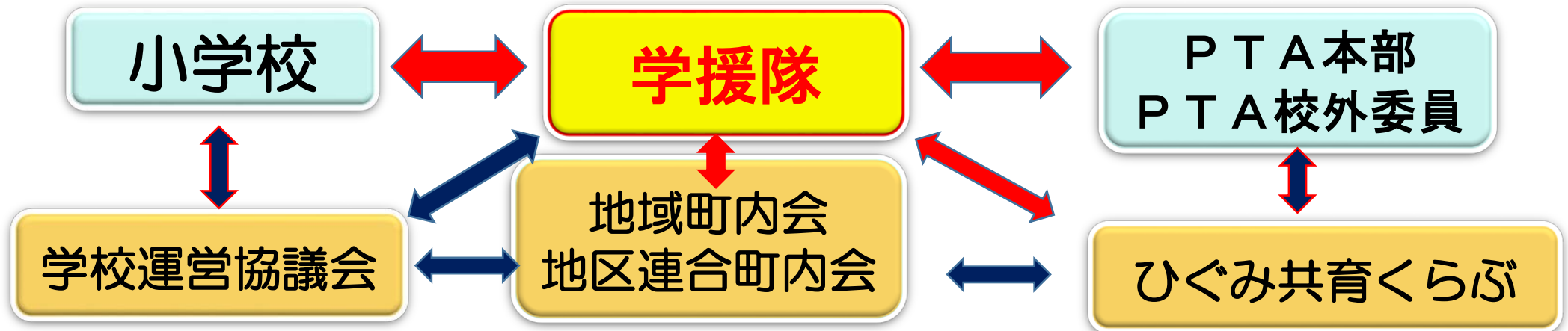
1. ひぐみ学援隊活動の基本・体系・歴史
2. ひぐみ学援隊の組織
3. 令和元年度 学援隊登録・見守り状況
4. 令和元年度 学援隊活動の活動成果
5. 令和元年度 学援隊活動紹介
6. 令和2年度 学援隊の検討課題
7. その他
 7. 1 はたふり誘導について注意事項
 7. 2 学校からの連絡をマチコミアプリの有効利用

1. ひぐみ学援隊活動の基本・体系・歴史について

活動基本

- あくまでも**ボランティア**活動
- **無理せず、できる範囲**での活動（体調管理）
- 子どもたちに**元気をもらう**活動（子どもたちとの**元気な挨拶**）
- **健康と交通事故に注意**して活動
- 自らの**健康維持**につながる活動（自らのライフスタイル）
- 地域**まちづくり**に**貢献**する活動（**地域住民との挨拶**）（**通学路点検**）

体系



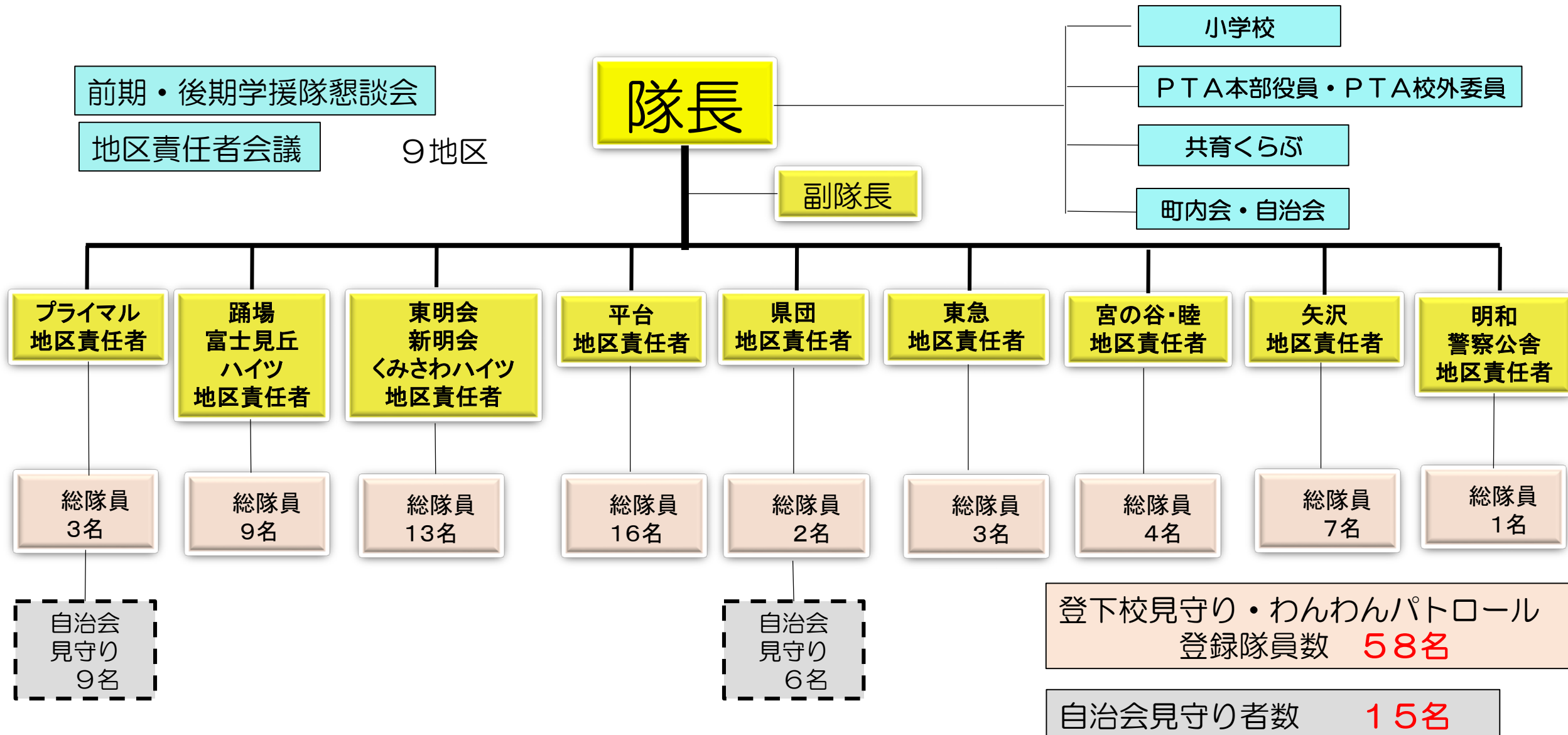
歴史

平成18年4月 町内会組織で各町内会で見守り開始
平成20年4月 横浜市発足の学援隊入る
名称を「ひぐみ学援隊」とする

平成30年 戸塚区防犯協会より表彰を受ける
令和2年1月 横浜市教育委員会研修会で学援隊活動を紹介

2. ひぐみ学援隊の組織について

令和2年1月末現在



3. 令和元年度 学援隊登録・見守り状況

1. 学援隊区分別登録者数

令和2年1月末現在

単位：人

| 区分 | 登録者数 | 年度初め | 差異(対年度初め) |
|-----------|------|------|-----------|
| 登下校見守り | 33 | 35 | -2 |
| ワンワンパトロール | 27 | 28 | -1 |

年度初めから登下校見守り登録者 -2名(退会) わんわんパトロール登録者は-1名

2. 登下校の見守り状況

登校時 19個所

下校時 7個所



地域と連携した見守り活動を推進

3. わんわんパトロール



登録者数を地区別に増やす。

朝、夕方 犬の散歩しながら道路・公園等のこども達を見守り

27人×301日=人(延べ人数)



校区町内会・自治会と連携

4. 令和元年度 活動の成果 (1月末現在)

1. 交通事故 (登下校中)
目標 0件 → 実績 0件
2. 登下校見守り中の学援隊員災害
目標 0件 → 実績 0件
3. 地域での見守り、子どもたちとの交流、スクールゾーンの安全対策提案
を行い**安心・安全**の街づくりに貢献。
スクールゾーンの改善案を提案、危険個所の改善提案。
4. 小学校学習支援要請を皆様のご協力で行い学習支援に大きく貢献。
学習支援延べ日数は35日、延べ人数は235人
5. 地域との連携見守り
地域・こども達との**コミュニケーションの向上に寄与している。**

学援隊・見守り隊員は、**横浜市市民活動保険**に加入しています。
(学援隊のボランティア活動中での災害等保険)

5. 令和元年度 活動紹介

5. 1 登下校の見守り



スクールゾーンの点検と改善指摘



登校19ヶ所



下校7ヶ所



校外委員の皆さんと
校区スクールゾーン
を巡視点検

5. 2 わんわん パトロール

朝、夕方 犬の散歩しながら道路・公園・空地等での子ども達を見守り

5. 3 はたふり講習会に参加 5月21日 3名参加

交通量の多い道路での新規学援隊員が参加
令和元年度の参加者は、東明会地区 森田氏、川崎氏、石橋



- 隊員へ資料提供
懇談会資料として
- 校外便りに掲載
- 交通安全教室で実演

5. 4 交通安全教室のお手伝い 6月7日 7名参加



- はたふり実技指導
- 安全教室の補助

交通安全教室「1年生 正しい歩き方」

「4年生 安全な自転車の乗り方」



5. 5 地域安全教室・集団下校に参加9月2日 11名参加



- 危険箇所、登下校の注意箇所等をマップ作製と見直し



交通安全上および防犯上の**通学路**や**居住地**における**危険箇所**、**避難場所**等を確認。各地区別に学援隊員が子供たちとマップを使い話し合い

5. 6 令和元年度 登校時間中の交通量調査

調査の目的

1. 子供たちの通学時間帯の交通量を 保護者と子ども達が **認識し、日常から交通事故防止に努める**
2. 交通事故防止対策活動の参考とする。

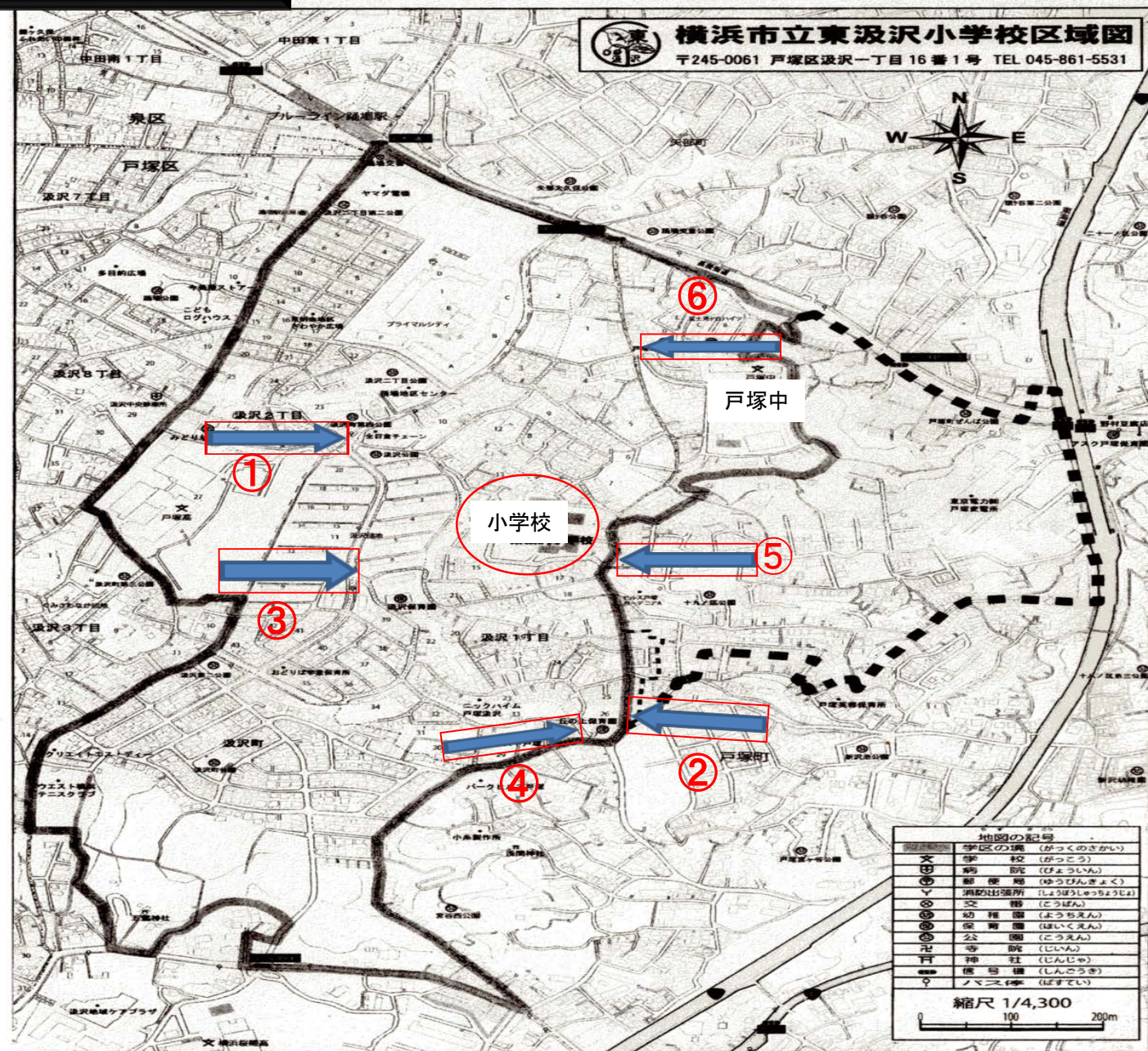
調査月 : 令和元年11月、12月

調査期間: 11月28日~12月6日

調査台数: 2日間の平均(20分)一部30分

調査者 : **ひぐみ 学援隊**

調査個所: 危険性の高い6ヶ所



| | 調査場所 | 台数 | | |
|---|-------------|-----|-------|---|
| ① | 戸塚高校下県団入口通り | 333 | (271) | ↑ |
| ② | 丘の上保育園正門前 | 142 | (-) | |
| ③ | 汲沢保育園入り口 | 130 | (127) | ↑ |
| ④ | 丘の上保育園裏門三差路 | 100 | (95) | ↑ |
| ⑤ | 101階段前三差路 | 61 | (78) | |
| ⑥ | 戸塚中学校 五差路通り | 34 | (55) | |

台数:バス、トラック、バイク
自動車、電動自転車含む

5. 7 こども達との交流会に参加

2年生と学援隊給食交流会
12月17日(月)

16名参加



1年生と「ふゆも げんきに～むかしあそび」
12月10日(火)

20名参加



5. 8 運動会、ひぐみ風の子フェスティバル～餅つき体験と昔遊び～パトロール・支援

運動会パトロール
10月13日(土)

10名参加



ひぐみ風の子フェスティバル～餅つき体験と昔遊び～支援
12月14日(土)

9名参加



5. 9 学援隊学校支援活動「ひぐみ共育くらぶ経由」の支援

学校支援ルート

小学校

要請
⇔
回答

地域学校協働活動本部

ひぐみ共育くらぶ

要請
⇔
回答

学援隊

メンバー選出
地区責任者

- ・学援隊
- ・PTA役員、PTA専門部
- ・保護者のワンディサポート
- ・おやじの会

学校と地域をつなぐ・紹介
地域と学校の架け橋

要請はリクエストシート
要請は約1ヶ月前
年間スケジュールは年初に計画

学援隊学校支援活動【引率支援 授業サポート】の内訳

| | | | | | |
|------|-----|-------------|------------|--------|------|
| 1年生 | 生活科 | がっく探検 | 6月 | 3日間 | 12名 |
| 1年生 | 生活科 | 谷矢部池公園 | 10月 | 1日間 | 3名 |
| 1年生 | | 野毛山動物園 | 11月 | 1日間 | 3名 |
| 1年生 | | 冬も元気昔遊び | 12月 | 1日間 | 20名 |
| 2年生 | | ひぐみの町を探検 | 5月、10月、11月 | 6日間 | 25名 |
| 3年生 | | ひぐみのまち調査隊 | 5 | 3日間 | 18名 |
| 3年生 | | オフセット印刷工場見学 | 10月 | 1日間 | 4名 |
| 全校 | | 全校遠足 | 6月 | 1日間 | 6名 |
| 個別支援 | | 地域交流 | 7月、12月 | 3日間 | 22名 |
| | | | | 合計20日間 | 117名 |

支援の分担

地区別に主担当を決めて対応
1年生 プライマル地区
2年生 踊場地区
3年生 平台・東急地区
支援人数が多い場合は、その他の学援隊員、共育くらぶ、一般ボランティアを募集

5. 10 学援隊学校支援活動「小学校・PTA」の支援

支援日数 14日間 延べ人数 125名

- ・旗振り講習会
- ・スクールゾーン事前点検
- ・交通安全教室
- ・下校訓練
- ・ひぐみオリンピック
- ・給食交流会
- ・個別支援学級
- ・学援隊懇談会、ひぐみフェスティバル、個別支援学級の子どもとの交流会

5. 11 学習支援紹介 学区たんけん・まち探検・まち調査・会社訪問

学区たんけん・ひぐみのまち探検・まち調査・工場見学訪問の見守りと引率



5. 1 2 総合学習支援（6年生Sプロジェクト）・個別支援学級（地域交流）



地域の危険場所をまわり、危険箇所と対策し危険マップ作製の事前調査に学援隊同行



手品披露



グラウンドゴルフ



歌とかんたん体操

個別支援学級の子とも地域が交流

5. 1 3 P T A 校外委員との交流



P T A 校外委員と交流



スクールゾーン巡視点検

地域を理解している学援隊員も同行

学援隊交流会



学援隊員、学校、P T A、地域町内会・自治会長交流

5. 14 地域町内会、学援隊員の協力支援

啓蒙のぼりの設置（町内会と連携）



小学校周辺危険個所に設置

学援隊員畑の提供で芋ほり体験



1年生の芋ほり体験

スクールゾーン改善事例

安全になり
子ども、地域も大
変喜んでます。



101階段前から教会通りの改善



汲沢保育園前
安全ポール設置と歩道幅拡張



手作り旗入れ容器設置



改善前



ペットボトルで作成
改善後

6. 令和2年度 学援隊の検討課題

検討課題

- 1、わんわんパトロール登録者を増やすことと情報提供
グッツの見直し検討 防犯腕章とリード票の検討
- 2、危険個所の横断歩道見守り学援隊員を増やす。
- 3、サポート事業ボランティアの体制づくり（学援隊との）
PTA、保護者、地域の皆様、との連携の有り方
- 4、地域まちづくりに貢献する活動推進
道路や空地等の危険個所や交通安全標識等設置等を町内会と連携
主なスクールゾーンの道路名を決定し周知
- 5、横断歩道の横断中旗入れの更新
- 6、マチコミ無料アプリ加入者を増やす、利用方法の見直し
- 7、他の小学校学援隊との交流
- 8、学援隊隊長の定期的交代

7. その他

7.1 はたふり誘導について注意事項

通学路 はたふり誘導ハンドブック（横浜市発行）から抜粋

注意事項

1. 自分の身を守る



車道に出ない事が原則、やむを得ず車道に出る場合はバイクに注意

2. 自動車に指示しない



横断旗には自動車を止める強制力はありません

3. 感謝の気持ちを持つ



協力してくれた運転手に、会釈するなど感謝の気持ちを伝えましょう

4. 大型車は止めない



大型車の後続車が前方を確認できずに追い越しての事故につながる

こどもの交通事故防止するために、**こどもの特性**を十分に理解しておくことが重要です。

7. 2 学校からの連絡をマチコミアプリの有効利用

マチコミアプリ利用の背景

平成29年度に緊急事態発生時に、下校時間が大幅に変更となり、学援隊員への連絡が不十分であった。緊急時の連絡網では、不在や留守電話が多く対応が困難。保護者が利用しているマチコミアプリを利用

マチコミアプリ利用の推進PR

令和元年度前期学援隊懇談会でマチコミアプリの登録手順について説明し登録依頼を行った。

マチコミアプリ利用登録者数と情報提供内容

| | | | | |
|---------|-------|-----|------------------------------|--------------|
| 登録者数 | | 18人 | 令和2年1月末現在 | (昨年登録者数は12人) |
| 学援隊グループ | | | 小学校地域での不審者情報、下校時間の変更、緊急時の連絡等 | |

マチコミアプリ利用の効果

学援隊電話連絡網



- ① マチコミアプリで学援隊員へ連絡される
- ② 未加入者には地区責任者 メールにて転送
- ③ その他の地区責任者は電話連絡

終

- 学援隊員の皆様、ボランティア大変ご苦労様です。
- 学援隊活動にご協力とご支援ありがとうございました。
- 学援隊・学校・地域・PTA・共育くらぶと連携し「安心、安全なまちづくり」に貢献しましょう。